Order Suits Guide

絶対に失敗しない
オーダースーツ

Men's Fashion TV

BOTTONE

目次

01. オーダースーツの失敗談

02. スーツは魔法の服

03. 生地選びで失敗しない為のポイント

04. イタリア生地の特徴

05. イギリス生地の特徴

06　サイズ感で失敗しないポイント

07.　オーダーなのに合わない理由は？

08.　採寸よりもフィッティングが大事

09.　オーダーの種類

10.　無料オーダー体験会

みなさんはこんな経験がありませんか？

- オーダーなのにサイズが合わなかった
- 生地を選んだけど思っていた仕上がりにはならなかった
- 採寸はされたけど、フィッティングはされなかった
- 価格重視で格安オーダー店にいったけど、オプションで結局高額になった

●よくあるオーダースーツの失敗談

私、松はじめの場合…

洋服の仕事に携わる前の20代の頃、とある方の紹介で訪れたテーラーのトランクショーにて初オーダースーツを体験。

●よくあるオーダースーツの失敗談

生地とかデザインとか選べませんでした…

- そもそも自分がノープランだった
- 色々選べると思っていたのに生地や裏地を全く選ばせてもらえなかった
- デザインの好みを聞いてもらえなかった

でも、プロにお任せして良かったこともあった

- 周囲から「そのスーツ似合ってるね」と褒めて貰えた
- 自分に似合うデザインやシルエットを見繕ってもらえた

オーダーする前に
準備しておきたいこと

- どんな『シーン』で着るのか
- こんな『色』がいいな
- こういう『悩み』がある　　など

事前に自分の中で、少しでもイメージを
膨らませておくといいでしょう。

良い洋服を作るための条件

いろんなテーラーがあるからこそ、自分に合うかどうか見極める必要があります。あくまで自分でも選ぶことができて、でも時にはプロに任せたり、アドバイスをもらえるようなお店を見つけましょう。

だから、じっくり話せる店を

そんな経験を経て、自分がお店を構えるなら「じっくり対話ができるサロンにしよう」と決めておりました。ですからボットーネは今でも変わらず最低2時間を確保して、理想のスーツをお客様と共に追いかけています。

●スーツは魔法の服

コロナ禍を経て、
やっぱりスーツがいい

リモートワークが普及して社内のカジュアル化がより一層進み、「スーツを着なくなった」という人が増えました。
それでもやっぱり「スーツを着ると仕事のスイッチが入る」からと元のスタイルに戻る人も多いです。

●スーツは魔法の服

スーツ着ることで
得られるメリット

- スーツを着ると背筋が伸びる
- 仕事の大事な場面で自信が持てる
- 誰しもが着るだけで『きちんと感』を演出できる
- なりたい姿を実現できる

オーダースーツは
個人の魅力を引き出す

自分の体にしっかりとフィットしたスーツは既製服とは全く異なるフィット感を味わうことができます。
周囲からの見え方も自ずと変わり、自然に自信が持てるようになります。

●生地選びで失敗しない

生地選びで
よくある失敗

オーダーの醍醐味である生地選びですが、ここで失敗してしまうケースも多い。完成形がイメージしにくく「仕上がったら思ったより明るい！」「派手になって驚いた！」ということはよくあります。

●生地選びで失敗しない

生地選びで失敗しないためには？

生地選びで失敗しない為には、自然光の下で色味を確認したり、サンプルや写真などで少しでも具体的に仕上がりのイメージをさせてもらえると安心です。

●生地選びで失敗しない

イタリア生地の特徴

- 原毛から生地になるまで全ての工程を自社で行う【一貫紡】が多い
- きめ細かく上品な光沢がある
- カラーバリエーションも豊富でファッションセンスのあるラインナップ
- 柔らかく、軽い質感

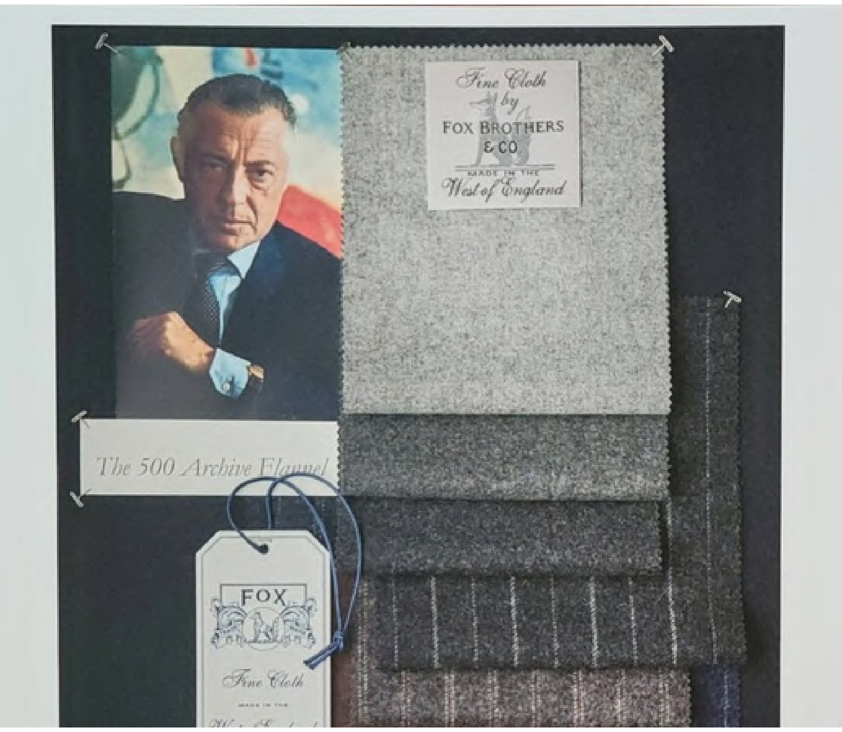
イタリア生地の弱点

- 耐久性が低く、シワになりやすい
- 光沢感が強すぎるとこれ見よがしなスーツになってしまう
- 柔らかい生地は自分の体型の欠点をより浮き彫りにさせてしまう
- 雨や汗、湿気に弱い

イタリア生地は
こんな方におすすめ

- 柔らかく、軽い着心地のスーツが好み
- エグゼクティブの風格を醸したい
- 時折着用する【勝負スーツ】がほしい
- 慶事用のフォーマルスーツがほしい

●生地選びで失敗しない



イギリス生地の特徴

- 光沢感は控えめで堅牢な印象
- 打ち込みがしっかりしており、シワに強く耐久性も優れている
- 落ち着いたビジネス向けのカラーバリエーション
- アイロンが良く効き、立体的に仕立て映えする

イギリス生地の弱点

- 人によっては分厚く感じてしまう
- スーツ単体でみるとどうしても控えめな印象になる
- 光沢感があまりなく、パッと見では高級感がない

イギリス生地は
こんな方におすすめ

- 初めてオーダースーツをつくる
- 着数が少ないから長持ちさせたい
- ビジネスシーンで相手に良い印象を与えたい
- これまでイタリア生地しか体験したことがない

ウールの特性

スーツにウール生地が使われる理由のひとつに【熱可塑性】があります。熱を加えて変形させて、冷ますとその形をキープする。それにより、スーツは身体の曲線に合わせて立体的に仕立てることができるのです。

●サイズ感で失敗しない

サイズ感で
よくある失敗

オーダースーツでもサイズ感で失敗してしまうことがあります。思っていたシルエットにならなかった、もう少し細くしたかった、ちゃんと採寸してもらったのになぜ合わないのでしょうか？

●サイズ感で失敗しない

- 採寸だけで【フィッティング】を十分に行っていない
- シルエットの【ピン打ち】をしていない
- 鏡の前で確認をしていない

- フィッターの提案力が低い
- スーツだけを見ていて、シャツや靴と合わせていない

●サイズ感で失敗しない

勘違いしている方が非常に多いのですが、オーダースーツは『採寸箇所が多ければ』いいのではありません。採寸はあくまで点を取るに過ぎないので、大事なのはその点をどうやって線（シルエット）で結ぶかなのです。もちろん採寸箇所が多いことに越したことはありませんが、採寸値からどう調理するかがフィッターの腕の見せ所。

●裏地で失敗しない

総裏

基本的にスーツは総裏です。裏地があると背中で引っかからず着やすくなり、生地に直接汗がつくのを防ぐ役割もあります。

背抜き

＝夏用ということではなく、スタイルに合わせて適切に選びましょう。通気性の良いスーツであれば、背抜きもいいですね。

パットはあり？
それともなし？

どちらが正解か？ということではなく、どちらが自分の目指すスタイルにあっているかどうかです。構築的なスーツであればもちろんパットは必要ですし、仕立ての軽いジャケットならば無しがいいでしょう。オーダーであれば、お身体の特徴なども踏まえて、パットの有無、厚さにおいても最適な選択が可能です。

●芯地で失敗しない

最近はアンコンジャケットだらけの世の中

- 軽い＝芯地を使わないので、高等な仕立ての技術が必要
- 格安のアンコンジャケットの仕立てがいいのかというと…？
- 何でもかんでも軽けりゃいいってものではないのでご注意を

スーツを着ることで
気持ちを表現する

スーツを着ることは相手や周囲への配慮にも繋がります。「今日はあの人と会うからこのスーツを着よう」とか「大事な商談があるからこのスーツを着ていこう」といった風にTPOに合わせて装いを考える心が大事です。

TPOに合わせた装いを考える

例えば、初めて会う人の為にスリーピーススーツを着ていくことは相手に対して礼を尽くしていることになりますよね。ニュースなどで見かける謝罪会見の場では黒いスーツを着ることで謝罪の気持ちを誠心誠意表現することができます。

だからこそスーツに気を遣いたい

オーダースーツには理想とする自分の姿に近づけてくれる力があります。でも経験者なら分かるかと思いますが、オーダーの種類にも色々あって、実はすごくややこしいんです。ここからはオーダーの種類について細かく解説していきます。

その店、本当に
フルオーダー？

オーダーの種類を分けた上で、巷でよく耳にする『フルオーダー』はどこに分類されるかというと、『ビスポーク』です。
でも業界の実情として、『仮縫いができればフルオーダー』とか『色々補正できるからフルオーダー』と誤った認識をうたっている店も多く、より複雑で分かりにくい状態になっています。

●オーダーの種類

01

ビスポーク

まったくの0から型紙を起こし、フルハンドメイドで仕立てる究極の注文服。最低でも50万〜の価格帯。人気店なら納期は2年程。

02

パターンオーダー（イージーオーダー）

元となるパターン（型紙）があり、CADなどの技術により細かな補正を加えカスタマイズが可能となった比較的新しいスタイル。

03

既製服

アメリカの文化を取り入れると同時に発展してきた。昔のスーツはビスポークか既製品のどちらかしか選択肢はなかった。

●パターンオーダーはピンからキリまである

低価格
パターンオーダー

- 完全にマシン化・海外生産
- 補正は制限あり
- 納期は数週間・工業製品に近い
- 縫製賃も当然安い

中価格
パターンオーダー

- 国内の縫製工場
- 補正はある程度可能
- 納期は短め（～1ヶ月）

高価格
パターンオーダー

- 手作業も含んだ丁寧な仕立て
- 補正はほとんど制限なし
- 納期は2ヶ月程度と長め
- “低価格”では提供できない

パターンオーダーは MTMとも呼ばれる

パターンオーダーなのかイージオーダーなのか、非常にややこしいです。ただ、どちらにも共通するのは元となるパターンがあるということ。つまりパターンオーダーなのです。海外では「MTM(メイドトゥーメジャー)」とも言います。

パターンとしての完成度の違い

パターンオーダーの中で差がある理由は、パターンとしての完成度の高さに差があるからです。加えてどんな体型補正を入れられるか、熟練の職人が手で縫うなど縫製にどれだけ工程数をかけているかで、オーダー店の力量を推し量ることができます。

ボットーネのスーツは MTMでお仕立てしています

パターン	某ラグジュアリーブランドのビスポーク・MTM最高責任者が開発したパターン
縫製	国内トップレベルの縫製技術を持つファクトリーで1着1着丁寧に製作
フィッティング	細かくピン打ちをしながらじっくりとフィッティングを行う

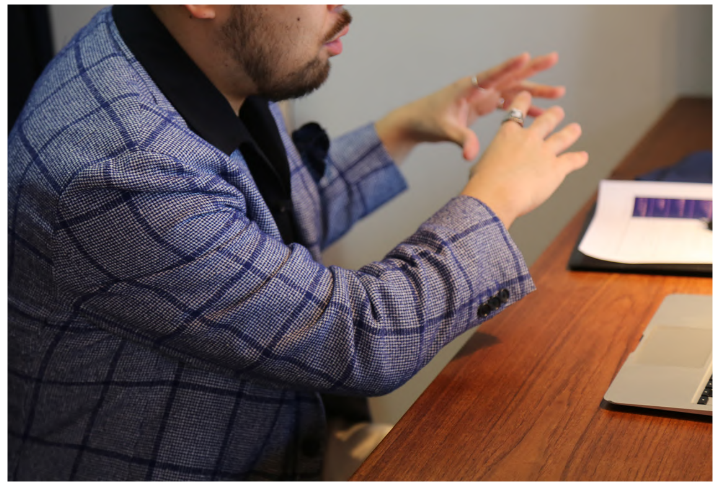
オーダースーツで
失敗しない為に

私が運営しているボットーネ表参道では、オーダースーツでの失敗をして欲しくないという思いから、「無料オーダー体験会」を開催しています。

●無料オーダー体験会

結局オーダースーツって
いくらになるかわからない

オーダーしてみたいけど、オプションなども含めていくらになるか分からないと不安ですよね。無料オーダー体験会はその不安を解消する為に実際のオーダーフローを体験できるプログラムです。正確な見積もりもお渡ししますので、安心してご検討いただけます。



●無料オーダー体験会の流れ

01

カウンセリング

お客様のお仕事柄やお持ちのスーツ、お悩みなどをじっくりヒアリングします。お好みも人それぞれですからざっくばらんにお話ができればと思います。

02

生地提案

世界各国の生地からお客様のライフスタイル合わせてご提案させていただきます。実際の生地に触れることで完成のイメージも膨らみます。

03

採寸・フィッティング

お客様の体型に合わせて細かくピン打ちをしながらフィッティングを実施します。見て美しく、着て着やすいスーツを作る上で欠かせないポイントです。

04

お見積もり

実際にどのくらいの金額でスーツを仕立てられるのか、正確な見積書をお渡しいたします。じっくりご検討くださいませ、

●サロン情報

ボットーネ表参道

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前4-19-8 アロープラザ原宿121

（03-6447-1748）

表参道にあるマンションの一室で運営しています。最大120分あなたの為に時間を確保し、じっくりご提案いたします。プライベート空間でのオーダーをお楽しみください。予約制ではありますが、サロン見学も可能です。

●コンシェルジュ紹介

松はじめ

表参道の看板のないオーダーサロン、ボットーネCEO。クライアントは上場企業経営者、政治家、プロスポーツ選手の方をはじめ、述べ2,000人以上。
※現在新規のオーダーは承っておりません。

中之丸真吾

ボットーネ表参道の店長。人生で情熱を注げることは２つ、１つはサッカー、もう１つはスーツ。何事もコツコツ、地道に基礎を固め着実に行う動作の安心感の高さはクライアントからの評価も高い。

林 優吾

お客様の満足の為に全身全霊で洋服に向き合う熱きコンシェルジュ。用途に合わせた的確な生地選定や美シルエットの構築が真骨頂。フィッター歴6年。

Thank you!

最後までご視聴ありがとうございました!

表参道サロンでお会いできますことを

楽しみにしております。